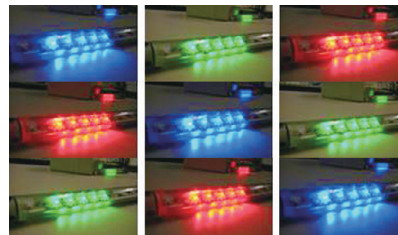


OSV On Site Visualization 研究会

安-20

「光の色」を使って計測データを現場で
リアルタイムに可視化する技術

「光の色によって計測データを現場でリアルタイムに可視化する」という新しい装置群を開発しています。これらの装置は、任意の場所に設置でき、その場所に何らかの変化（伸縮、ひずみ、傾き、圧力、温度、湿度など）があれば、LEDによる光の色によってその大きさが表示されるため、作業員や周辺住民はその変化をリアルタイムで視覚的に確認できます。これは従来の方法とは多くの点で異なる新しい防災・安全監視システムの構築が可能になることを意味しています。



伸縮することによって光の色が変わる「光る変位計」

担当部署 神戸大学大学院 工学研究科 市民工学専攻 担当者 芥川真一

Tel 078-803-6015 Fax 078-803-6069

担当部署 (株)環境総合テクノス 土木部 担当者 渡辺邦男

Tel 06-6263-7357 Fax 06-6263-7362

変位を「光」に



伸縮によって光の色が変化する「光る変位計」で、Light Emitting Deformation Sensor (LEDS)と呼びます。自動車用バッテリーで駆動することができ、持ち運び、設置が簡単にできます。

ひずみなどを「光」に



微小変位、ひずみ、傾斜、圧力、温度、湿度、など様々なデータを光の色として表示するための「光るコンバータ」、Light Emitting Converter (LEC)です。多様な用途に対応できる装置です。

傾きを「光」に



微小な傾斜を高精度に計測し、それを光の色に変える「光る傾斜計」、Light Emitting Inclination Sensor (LEIS)です。恒温での計測により高精度のデータ取得が可能です。

OSVはインドの地下鉄建設工事でも採用されました。



JICAの支援により建設が進むインド、デリーの地下鉄建設現場でOSVによる安全監視が行われました。「安心して仕事ができる」と好評でした。